

## 宝塚OGサポーターズクラブとは

宝塚歌劇団OGの活動支援とファンの「応援したい」に応えた初のセカンドキャリアサポートチームです。



## 第124回 かわさき起業家オーディション

「かわさきビジネス・アイデアシーズ賞」受賞

# 宝塚歌劇団OGの活動支援と マネタイズ機会の創出



株式会社  
Que seran pasaran

代表取締役社長  
八木下 裕子

タカラジェンヌは退団後、どのようなセカンドキャリアを歩んでいるかご存知ですか？宝塚歌劇団は非常にクローズドな世界であるため、生徒は退団後の働き方についての知識が浅く、これまで培ってきたスキルを活かせないまま仕事を選択しているOGが多いというのが現状です。

そこで、宝塚OGが持っているスキルを活用しながら、新たな挑戦をサポートしていくマネジメント事業と退団後もOGの最新情報の発信・定期的なイベントの開催・グッズ販売などでファンを継続して応援していけるプラットフォーム「宝塚OGサポーターズクラブ」運営実施するファンクラブ事業、OGの輝くセカンドキャリアを実現していきます。

マネジメント事業、ファンクラブ事業のほかに、宝塚ブランド事業の取り組みもスタートし、皆様から愛されるクラブとして飛躍を目指します。

## ■ ビジネスに至った経緯

私は小学5年生の時、地元福岡県で初めて宝塚歌劇団の地方公演を母と観劇しました。

その時以来、私たち母子は宝塚歌劇団の舞台に魅せられました。私はいつの日か、その舞台に立つことが夢であり、目標になりました。バレエのレッ

スンを始め、中学3年生になってからは月に一回、宝塚音楽学校への入学を目指す指導教室のある大阪へ通い、レッスンを積み重ねました。中学3年生卒業時に、初めて宝塚音楽学校を受験し合格、夢だった宝塚音楽学校に入学することができました。当時の同期生は50名です。(現在の定員は40名)。

2年間、宝塚音楽学校に通い卒業。正式に宝塚歌劇団に入団し、初舞台を踏むことができました。夢の舞台に到達し、充実した日々を送りました。

しかし、20歳代の若き女性もいつの日か宝塚歌劇団を退団する日がやっていきます。毎年40名の新人がタカラジェンヌとして初舞台を踏むように、同じ数の劇団員が、宝塚を離れます。セカンドライフの始まりです。私も大学受験や就職活動など、全く経験することがなかったので、一般的な就職活動をするという選択肢はありませんでした。劇団に入団し8年の月日が流れ、宝塚歌劇団の退団の日を迎えました。当時は、やり切ったという満足感、次へのステップに進むのに良いタイミングであるという一区切りの気持ちでした。

退団にあたり、次に何を目標せば良いか考える日々を送りました。私は宝塚歌劇団在籍中に、宝塚専門チャンネルの番組MCを経験したこと、劇団に取材に来られた番組リポーターの姿を見て、セカンドキャリアとしてアナウンサーを目指す決心をしました。アナウンススクールに通うため、上京し、アルバイトをしながら、アナウンサーとしての実力向上を目指しました。1年後、番組のオーディションに合格し、フリーアナウンサー事務所と契約することができました。私は本当に運が良かったと思います。フリーアナウンサーとして、テレビのキャスター、リポーター、アシスタントを経験しました。当時は、宝塚OGがアナウンサーを目指すのは非常にまれでした。

大半の宝塚OGは、宝塚の延長である芸能関係や舞台関係を志望します。そのほとんどが、アルバイトや派遣の仕事と両立して活動を続けており、安定収入は得るのは難しいのが現実です。現在はヨガ教室やスポーツジム等のフリーのインストラクターとして仕事をしている宝塚OGが多くいます。宝塚時代はほとんどの団員がセカンドキャリアについて深く考えることがなく、舞台活動に没頭する日々を送ります。そして、退団の日を迎えます。そのような宝塚OGの第二の人生の手助けができないかと考え、「宝塚OGサポーターズクラブ」を設立、運営をすることになりました。

## ■ サービスの特徴

「宝塚OGサポーターズクラブ」はマネジメント事業、ファンクラブ事業の2本の柱からビジネスをスタートしました。

マネジメント事業では、宝塚OGのやりたいこと、できることを実現させることがゴールになります。その入口として、相談できる場所、一緒に考えていく場所を提供いたします。新たな職場の確保を目指し、日々活動をしています。

令和2年9月の「かわさき起業家オーディション」で新しい出会いがありました。その時、最終選考会の会場で

一緒に受賞した企業の経営者の方と知り合いになり、その方の紹介で、企業の社員研修や新入社員研修のお仕事の契約をいただくことができました。

宝塚OGによるコミュニケーション講座。「笑顔、マナー、姿勢、立ち方、座り方、話し方」で相手に好印象を与えることができます。タカラジェンヌとして、これまで当たり前前にやっていたことが魅力(価値)となりビジネスに繋がりました。「かわさき起業家オーディション」をはじめ、ビジネスにおいては人との出会いが大切であると実感しています。

ファンクラブ事業では宝塚OGを現役時代同様、ファンとのつながりを継続させ、末永く交流ができるようにしていきたいと考えています。これは宝塚OGおよびファンの両者にとってWIN-WINの関係が続くことを意味します。

## ■ 今後の展開

令和3年1月よりブランド事業を3本目の柱として立ち上げました。宝塚OGの経験を形にすることを考え、宝塚OGだけで作り上げたアクセサリーのブランド「PAPILIO」をはじめて世に出しました。このような商品をクリエイティブし、関連の販売ルートや提携先との連携で、ビジネスとして、大きく育てて欲しいと願っております。そして、この事業が、お客様と宝塚OGの両者にとって、人々の輪を広げていくことにつながると確信しています。

3つの事業を推進し、宝塚OGの活躍の場を広げていくとともに、ファンの皆様との末永いお付き合いにより、長年蓄積されてきた宝塚ブランドを、広く皆様に知っていただけるように願っています。

現在は、少子化の影響で、宝塚音楽学校を目指す生徒さんの数も減少傾向と聞いています。自分自身が育った宝塚音楽学校、宝塚歌劇団には、これからも多くの若者がチャレンジして欲しいと考えています。才能ある若者が宝塚OGになった時にも、セカンドライフが充実したものになり、安心して、宝塚音楽学校を目指して欲しいと思います。

私はその道の先駆者として、後輩の皆様のセカンドライフの舞台での大活躍を後押しすることに尽力していきたいと思っています。

また、宝塚OGが現役時代に身につけた知識、経験等を社会に還元し、企業や就業の場でその経験が花開き、大きな果実となって、実を結んでくれることを切に願っております。

---

会社名：株式会社Que seran pasaran

住所：〒150-0002

東京都渋谷区渋谷1丁目12-2 8F

電話番号：☎050-3136-3465

メールアドレス：info@qspasaran.com

ホームページ：https://kagekiog.bitfan.id/

https://grantsienne.com/